

〇〇株式会社 御中

BIZUP

発展会計 月次レポート

平成25年7月度

御社の経営状況と財産状態をまとめ、現状を理解していただくための資料です。各種の経営数値より経営上の特性や課題を浮き彫りにし、経営判断をサポートする資料です。



日本ビズアップ(株)

月次経営分析体系

01 経営実績分析

(1)業績関連分析

- ①損益の傾向 総括
- ②月次損益推移表(要約変動損益)
- ③月別売上高3期比較
- ④月別付加価値3期比較
- ⑤月別人件費3期比較
- ⑥月別その他固定費3期比較
- ⑦移動年計

(2)資金関連分析

- ①利益の行方 総括
- ②比較貸借対照表分析(期首比較)
- ③累計キャッシュフロー分析

02 損益分岐点分析

- (1)総括
- (2)経営安全率分析
- (3)目標利益別必要売上

03 経営指標分析

- (1)総括
- (2)収益性分析
- (3)生産性分析
- (4)安全性分析

月次コメント

今月の特記事項

損益特性に関するコメント

資金に関するコメント

資金総括表

	現預金	借入金		差引
		長期	短期	
期首	294,222	0	0	294,222
当月	351,908	0	0	351,908
増減額	57,686	0	0	57,686

納税に関するコメント

01

経営実績分析 (1) 業績関連分析 ①損益の傾向 総括

今期は前期と比較すると **減 収 増 益** です。

①売上高は、 **22,240千円** 減少しています。

②変動費は、 **17,844千円** 減少しています。

③限界利益は、 **4,396千円** 減少しています。

④固定費は、 **16,485千円** 減少しています。

人件費は、 **1,444千円** 減少しています。

その他固定費は、 **15,041千円** 減少しています。

⑤営業利益は、 **12,089千円** 増加しています。

⑥営業外収益は、 **92千円** 減少しています。

⑦営業外費用は、 **641千円** 増加しています。

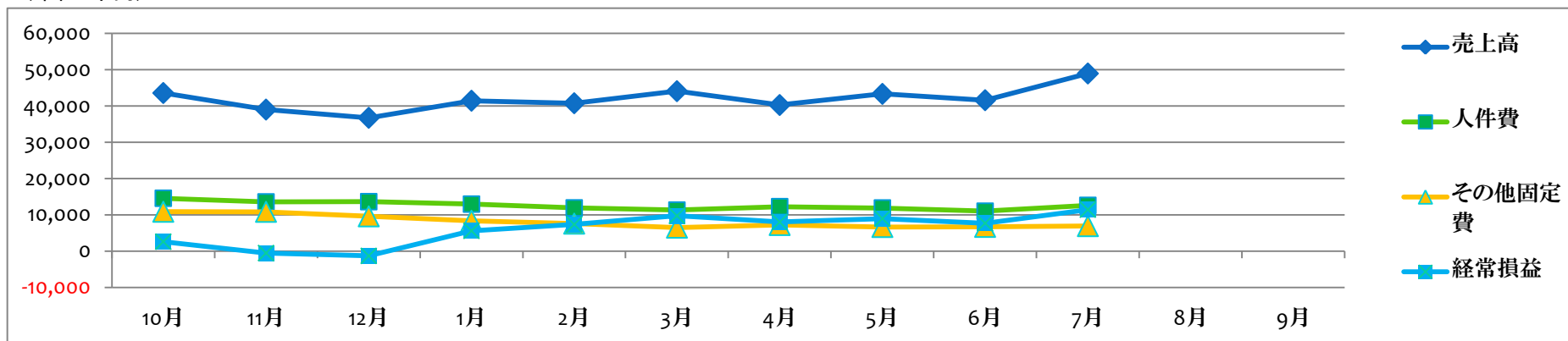
⑧経常利益は、 **11,356千円** 増加しています。

01

経営実績分析 (1) 業績関連分析 ②月次損益推移表(要約変動損益)

平成25年7月

(単位:千円)



(単位:千円)

項目名	前々期 月平均	前 期 月平均	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
売上高	46,163	42,293	43,540	38,976	36,708	41,413	40,727	44,045	40,235	43,297	41,555	48,919			419,414
変動費	18,664	16,891	15,781	15,307	14,938	14,659	14,138	16,705	12,935	16,051	15,276	18,127			153,917
限界利益	27,500	25,402	27,759	23,670	21,769	26,754	26,590	27,339	27,299	27,246	26,280	30,792			265,498
(限界利益率)	0.1%	60.1%	63.8%	60.7%	59.3%	64.6%	65.3%	62.1%	67.9%	62.9%	63.2%	62.9%			63.3%
人件費	13,575	12,848	14,549	13,545	13,615	12,937	11,898	11,287	12,241	11,869	10,986	12,594			125,520
その他固定費	10,492	10,066	10,629	10,670	9,474	8,240	7,353	6,330	7,063	6,416	7,613	6,788			80,577
営業損益	3,455	2,504	2,377	-693	-1,425	5,461	7,132	9,597	7,877	8,741	8,624	11,321			59,011
経常損益	3,433	2,488	2,581	-545	-1,320	5,577	7,338	9,723	7,995	8,961	7,680	11,410			59,401

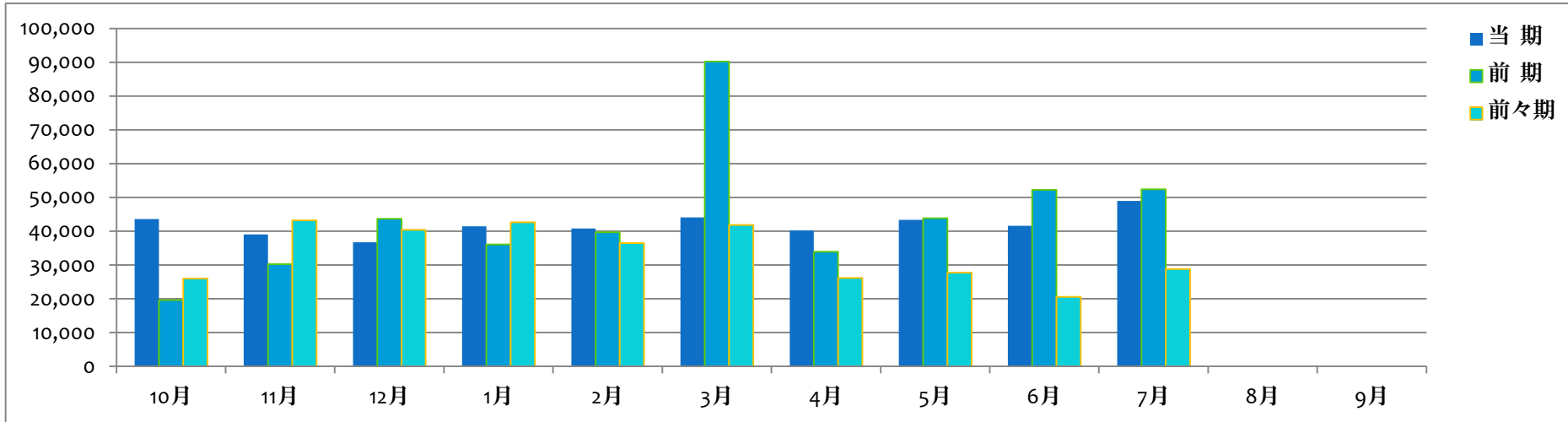
※その他固定費に営業外損益が含まれていますので、「限界利益-人件費-固定費=経常利益」となります。

01

経営実績分析 (1) 業績関連分析 ③月別売上高 3期比較

■月別売上高

平成25年7月



(単位：千円、%)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
当期	43,540	38,976	36,708	41,413	40,727	44,045	40,235	43,297	41,555	48,919			419,414
前期	19,603	30,224	43,639	36,052	39,636	90,188	33,887	43,817	52,227	52,380			441,654
前期対比	222.1%	129.0%	84.1%	114.9%	102.8%	48.8%	118.7%	98.8%	79.6%	93.4%			95.0%
前々期	25,964	43,183	40,332	42,593	36,485	41,840	26,089	27,758	20,527	28,730			333,502
前々期対比	167.7%	90.3%	91.0%	97.2%	111.6%	105.3%	154.2%	156.0%	202.4%	170.3%			125.8%

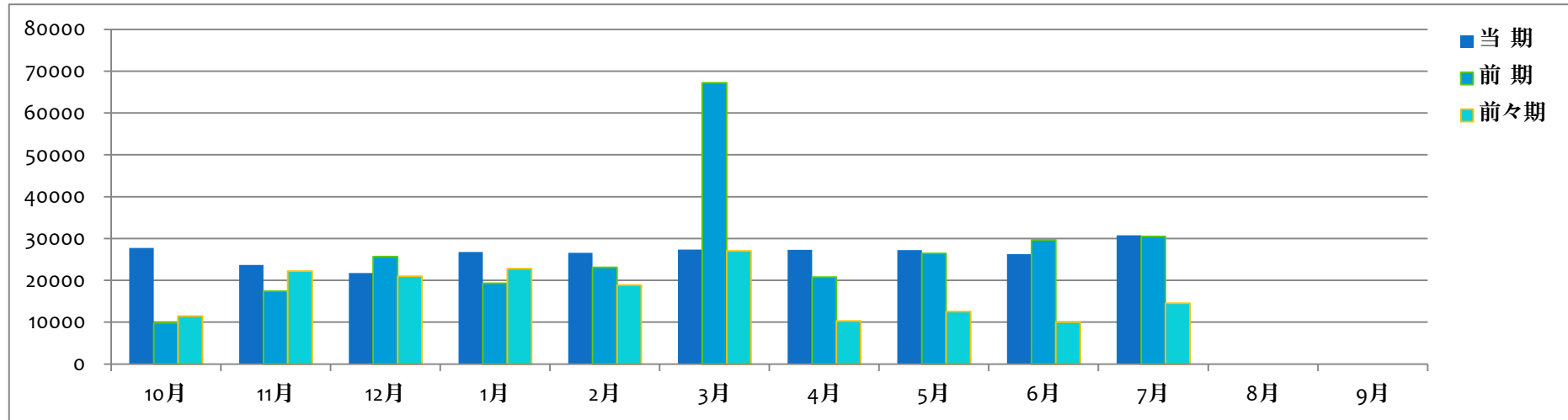
01

経営実績分析 (1) 業績関連分析

④月別付加価値 3期比較

■月別付加価値

平成25年7月



(単位：千円、%)

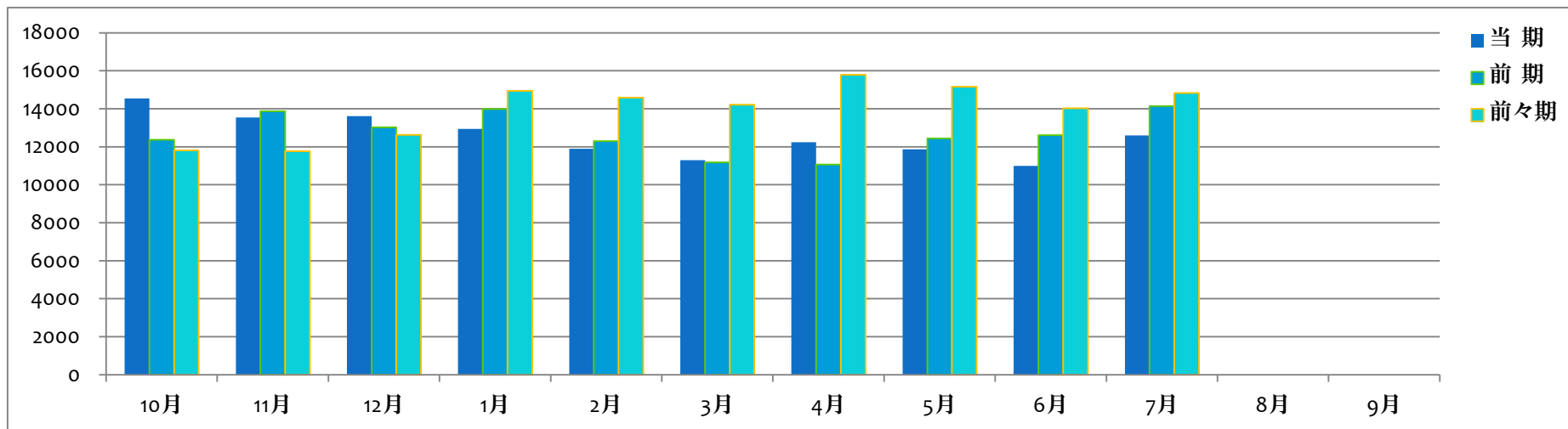
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
当期	27,759	23,670	21,769	26,754	26,590	27,339	27,299	27,246	26,280	30,792			265,498
前期	9,853	17,427	25,656	19,276	23,082	67,201	20,759	26,456	29,654	30,530			269,894
前対比	281.7%	135.8%	84.9%	138.8%	115.2%	40.7%	131.5%	103.0%	88.6%	100.9%			98.4%
前々期	11,409	22,227	20,980	22,754	18,860	27,011	10,282	12,536	10,040	14,557			170,655
前々期対比	243.3%	106.5%	103.8%	117.6%	141.0%	101.2%	265.5%	217.3%	261.8%	211.5%			155.6%

01

経営実績分析 (1) 業績関連分析 ⑤月別人件費 3期比較

■月別人件費

平成25年7月



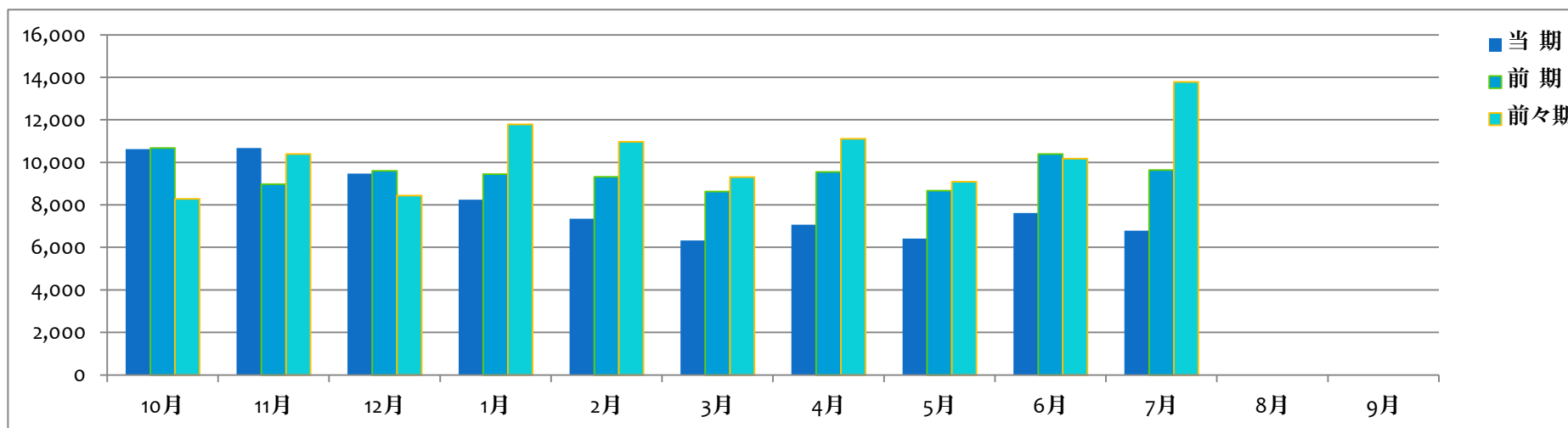
(単位：千円、%)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
当期	14,549	13,545	13,615	12,937	11,898	11,287	12,241	11,869	10,986	12,594			125,520
前期	12,362	13,869	13,031	13,991	12,297	11,174	11,060	12,439	12,606	14,135			126,964
前期対比	117.7%	97.7%	104.5%	92.5%	96.8%	101.0%	110.7%	95.4%	87.1%	89.1%			98.9%
前々期	11,804	11,768	12,620	14,943	14,584	14,215	15,792	15,165	14,023	14,831			139,745
前々期対比	123.3%	115.1%	107.9%	86.6%	81.6%	79.4%	77.5%	78.3%	78.3%	84.9%			89.8%

01

経営実績分析 (1) 業績関連分析 ⑥ 月別その他固定費 3期比較

平成25年7月



■ 月別その他固定費

(単位：千円、%)

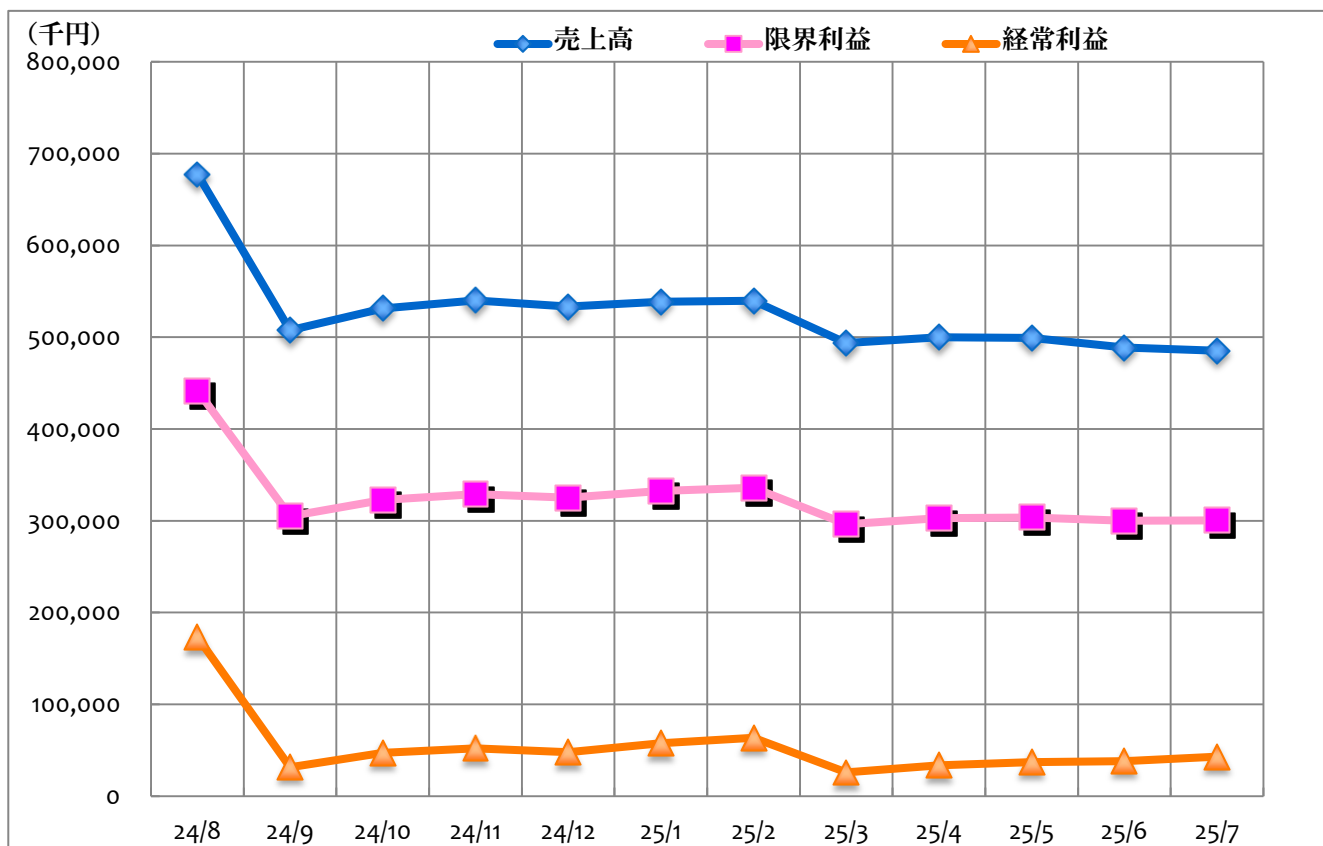
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
当期	10,629	10,670	9,474	8,240	7,353	6,330	7,063	6,416	7,613	6,788			80,577
前期	10,674	8,975	9,603	9,449	9,324	8,623	9,545	8,664	10,396	9,633			94,885
前期対比	99.6%	118.9%	98.7%	87.2%	78.9%	73.4%	74.0%	74.1%	73.2%	70.5%			84.9%
前々期	8,280	10,392	8,430	11,783	10,963	9,303	11,109	9,085	10,177	13,775			103,296
前々期対比	128.4%	102.7%	112.4%	69.9%	67.1%	68.0%	63.6%	70.6%	74.8%	49.3%			78.0%

01

経営実績分析 (1) 業績関連分析 ⑦移動年計(売上高/限界利益/経常利益)

平成25年7月

(単位：千円)



	売上高	限界利益	経常利益
24/8	677,384	441,712	172,978
24/9	507,514	304,822	31,473
24/10	531,450	322,727	47,237
24/11	540,202	328,970	52,110
24/12	533,270	325,083	47,768
25/1	538,631	332,561	57,509
25/2	539,722	336,069	63,386
25/3	493,579	296,208	25,705
25/4	499,926	302,748	33,547
25/5	499,406	303,538	37,155
25/6	488,734	300,164	38,183
25/7	485,274	300,426	42,829

注：年計表は一年間の推移を表し、移動年計することによって、季節変動を消して、傾向を把握することができます。

01

経営実績分析 (2) 資金関連分析
①利益の行方 総括

当月までの利益額は **59,401千円** です。

①総資産は、 **20,515千円** 増加しています。

②流動資産は、 **18,769千円** 増加しています。

売掛債権は、 **44,411千円** 減少しています。

在庫は、 **千円** 変動ありません。

③固定資産は、 **1,506千円** 増加しています。

有形固定資産は、 **687千円** 増加しています。

投資その他の資産は、 **198千円** 減少しています。

④流動負債は、 **23,092千円** 減少しています。

買掛債務は、 **5,698千円** 増加しています。

短期借入金は、 **千円** 変動ありません。

⑤固定負債は、 **千円** 変動ありません。

⑥負債合計は、 **23,092千円** 減少しています。

01

経営実績分析 (2) 資金関連分析

②比較貸借対照表(期首比較)

(単位：千円)

項目	当期実績 (A)	期首実績 (B)	財産の増加	財産の減少
[現金 / 預金]	351,908	294,222	57,686	
[売上債権]	118,998	163,408		44,411
[棚卸資産]	235	235		
[他流動資産]	38,359	32,866	5,494	
【 流動資産 】	509,500	490,731	18,769	
[有形固定資産]	14,208	14,895		687
[無形固定資産]	84,711	82,320	2,391	
[投資その他の資産]	27,562	27,760		198
【 固定資産 】	126,481	124,975	1,506	
【 繰延資産 ¹ 】	240	0	240	
【 資産の部 】	636,221	615,706	20,515	
[仕入債務]	43,115	37,417	5,698	
[他流動負債]	24,521	53,312		28,790
【 流動負債 】	67,636	90,728		23,092
【 固定負債 】	40,024	40,024		
【 負債の部 】	107,660	130,752		23,092
【 資本金 】	285,935	285,935		
[資本準備金]	80,000	80,000		
【 資本剰余金 】	80,000	80,000		
[利益準備金]	-1,000	-1,000		
[その他利益剰余金]	163,626	120,018	43,607	
【 利益剰余金 】	162,626	119,018	43,607	
【 株主資本 】	528,561	484,953	43,607	
【 純資産の部 】	528,561	484,953	43,607	
【 負債・純資産の部 】	636,221	615,706	20,515	

01

経営実績分析 (2) 資金関連分析

③ 累計キャッシュフロー分析

(単位：千円)

平成25年7月

I 営業活動によるキャッシュフロー	
	累 計
税引前当期純利益	60,749
減価償却費	792
貸倒引当金の増加額	0
退職給付引当金の増加額	0
受取利息配当金	-257
支払利息	617
売上債権増加(減少)額	44,411
棚卸資産増加(減少)額	0
仕入債務増加(減少)額	5,698
その他流動資産増加(減少)額	6,125
その他流動負債増加(減少)額	-29,408
割引手形の増加(減少)額	0
その他増減額	6,015
小 計	94,742
利息及び配当金の受取額	257
利息の支払額	-617
法人税の支払額	-2,892
その他営業活動による増減額	0
営業キャッシュフロー	91,489

主たる営業活動により獲得した資金を示します。

II 投資活動によるキャッシュフロー	
	累 計
有価証券の増加(減少)額	0
有形固定資産の増加(減少)額	-2,496
投資その他の資産の増加(減少)額	0
貸付金の増加(減少)額	685
その他投資活動による増減額	0
投資キャッシュフロー	-1,811

将来の利益獲得や資金運用のために支出または回収した資金を示します。

III 財務活動によるキャッシュフロー	
	累 計
短期借入金の増加(減少)額	-17,493
長期借入金の増加(減少)額	0
株式の発行による収入	0
配当金の支払額	0
その他の財務活動による増減額	-14,249
財務キャッシュフロー	-31,742

営業活動や投資活動の維持のために調達または返済された資金を示します。

	累 計
IV 現金及び現金同等物の増加額	57,686
V 現金及び現金同等期首残高	294,222
VI 現金及び現金同等期末残高	351,908

02

損益分岐点分析
(1) 総括

経営安全率は、前期の **17.8%** から、当期は、 **22.4%** となりました。

損益分岐点は、前期の **363,092千円** から、当期は、 **325,588千円** となりました。

当期利益実績は、前期実績を **11,356千円** 上回っています。

この要因として、以下の項目が挙げられます。

①売上高は **419,414千円** で、前期より **22,240千円** 減少しています。

②限界利益は **265,498千円** で、前期より **4,396千円** 減少しています。

限界利益率は **63.3%** で、前期より **.2ポイント** 上昇しています。

③固定費は **206,097千円** で、前期より **15,752千円** 減少しています

※固定費は、人件費+その他固定費-営業外損益

このままで推移すると、当期利益は **45,918千円** になります。(※)

前年比では、 **14,445千円** **増益** になります。

よって、このまま推移しても **前期利益を上回ります。**

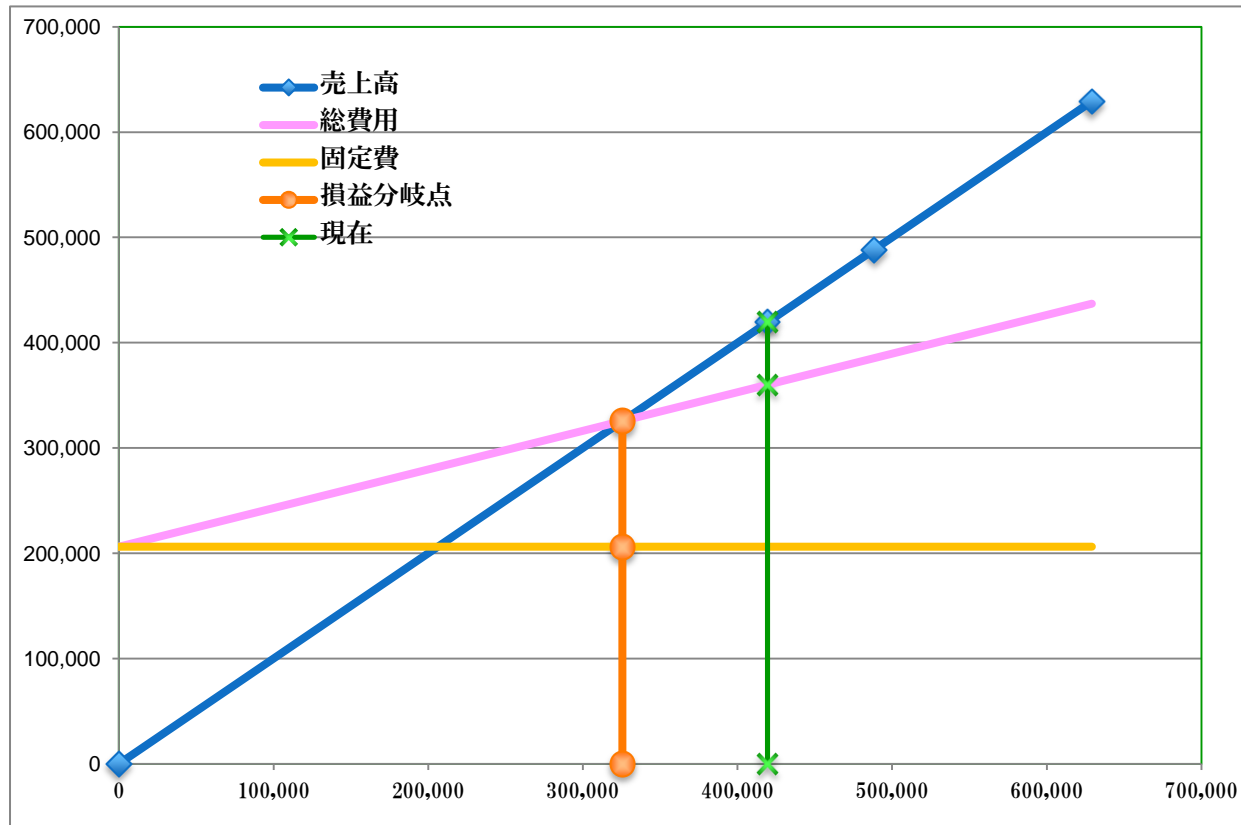
※当期見通しは、当月までの前年対比(%)に前期年間実績を乗じて計算しています。

※前年実績がない場合は、下部の3行については空欄となります。

02

損益分岐点分析 (2) 経営安全率分析

平成25年7月



計算の元になる実績値	
売上高	419,414
変動費	153,917
(変動比率)	36.7%
限界利益	265,498
(限界利益)	63.3%
固定費 ①	206,486
営業外収益 ②	2,056
営業外費用 ③	1,667
(①-②+③)	206,097
経常損益	59,401
損益分岐点売上高	325,588
損益分岐点比率 < % >	77.6%
経営安全率 < % >	22.4%
経営余裕売上高 < 千円 >	93,827

02

損益分岐点分析 (3) 目標利益別必要売上

平成25年7月

目標利益獲得に必要な売上高算出方法

目標利益を得るために必要となる売上高は、固定費と目標利益を加算した額を限界利益率で除すことによって求められます。

$$\text{必要売上高} = \frac{\text{固定費} + \text{目標利益}}{\text{限界利益率}}$$

※固定費＝人件費＋その他固定費－営業外損益

損益分岐点売上 **325,588** 千円

費 目	金 額 (千円)	対売上比 (%)
売 上	419,414	100.0%
変 動 費	153,917	36.7%
限 界 利 益	265,498	63.3%
人 件 費	125,520	29.9%
そ の 他 固 定 費	80,966	19.3%
営 業 外 収 益	2,056	0.5%
営 業 外 費 用	1,667	0.4%
経 常 利 益	59,401	14.2%

目標利益獲得のための必要売上シミュレーション

① 利 益 千円を獲得する為の必要売上

	固定費	必要売上高	必要増収額
固定費 (現状のまま推移)	253,939	401,155	-18,259
固定費 5%アップ	266,636	421,213	1,798
固定費10%アップ	279,333	441,270	21,856
固定費 5%ダウン	241,242	381,097	-38,317
固定費10%ダウン	228,545	361,039	-58,375

※固定費 (現状のまま推移) は、前年の年間実績に、当月までの前年対比を乗じて、当期の固定費推計を計算しています。

② 利 益 千円を獲得する為の必要売上

	固定費	必要売上高	必要増収額
固定費 (現状のまま推移)	253,939	401,155	-18,259
固定費 5%アップ	266,636	421,213	1,798
固定費10%アップ	279,333	441,270	21,856
固定費 5%ダウン	241,242	381,097	-38,317
固定費10%ダウン	228,545	361,039	-58,375

03

経営指標分析
(1) 総括

収益性分析

①総資本経常利益率は	11.2%
②売上総利益率は	63.3%
③売上高営業利益率は	14.1%
④売上高経常利益率は	14.2%
⑤総資本回転率は	0.8回

生産性分析

①限界利益率は	63.3%
②一人当たり売上高は	16,777千円
③1人当たり限界利益は	12,308千円
④1人当たり人件費は	5,021千円
⑤労働分配率は	40.8%

安全性分析

①流動比率は	753.3%
②当座比率は	752.9%
③固定比率は	23.9%
④固定長期適合率は	23.9%
⑤自己資本比率は	83.1%

03

経営指標分析 (2) 収益性分析

収益性分析

収益性は企業が調達し、経営に投下した資本の運用効率を示す総資本経常利益率によって総合的に評価されます。
またそれは売上高経常利益率(売上に対する営業活動によって得た利益の割合)と総資本回転率(経営に投下された資本を売上高によって回収した速度を示すもの)に分解できます。

平成25年7月

業種選択

建設業

(単位:%、回)

業界平均値との比較

経営指標	前期実績	当期累計	標準値	判定
総資本経常利益率	5.1%	11.2%	0.74%	5
売上総利益率	60.1%	63.3%	18.48%	5
売上高営業利益率	5.9%	14.1%	0.37%	5
売上高経常利益率	6.2%	14.2%	0.60%	5
総資本回転率	0.8回	0.8回	1.22回	1

[判定基準]

指標/点数	5	4	3	2	1
総資本経常利益率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下
売上総利益率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下
売上高営業利益率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下
売上高経常利益率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下
総資本回転率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下

収益性をみるために確認する指標

分析指標	算式	利用目的
総資本経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{総資本}}$	投下している資本に対して、どれだけの利益を上げたかをみる
売上総利益率	$\frac{\text{売上総利益}}{\text{売上高}}$	すべての利益の源である粗利益獲得力をみる
売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$	粗利益から販売費および一般管理費を差し引いた「本業の儲け」の割合をみる
売上高経常利益率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{売上高}}$	本業に係る企業活動全体から生み出される利益力をみる
総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	一年間で総資本の何倍の売上高をあげたかをみる

03

経営指標分析 (3)生産性分析

生産性分析

売上高の投入高に対する割合をいい、企業の経営分析の中で、収益性分析を補足するものです。
 その特色は、収益性分析においては投入高を「資本」としていたのに対して、生産性分析ではこれを「人」または「もの」としている点です。生産性が向上すれば人件費や諸経費の増加を吸収することが出来ます。

平成25年7月

業種選択

建設業

(単位:%、千円)

業界平均値との比較

経営指標	前期実績	当期累計	標準値	判定
限界利益率	60.1%	63.3%	39.99%	5
1人当たり売上高	16,917千円	16,777千円	23,040千円	1
1人当たり限界利益	13,289千円	12,308千円	9,220千円	5
1人当たり人件費	5,139千円	5,021千円	2,120千円	1
労働分配率	38.7%	40.8%	23.0%	1

[判定基準]

指標/点数	5	4	3	2	1
限界利益率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下
1人当たり売上高	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下
1人当たり限界利益	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下
1人当たり人件費	標準値の80%以下	標準値の81~94%	標準値の95~104%	標準値の105~119%	標準値の120%以上
労働分配率	標準値の80%以下	標準値の81~94%	標準値の95~104%	標準値の105~119%	標準値の120%以上

生産性をみるために確認する指標

分析指標	算式	利用目的
限界利益率	$\frac{\text{限界利益}}{\text{売上高}}$	売上高に対する原価効率をみる
1人当たり売上高	$\frac{\text{売上高}}{\text{社員数}}$	社員1人当たりの生産性をみる
1人当たり限界利益	$\frac{\text{限界利益}}{\text{社員数}}$	社員1人当たりの生産効率をみる
1人当たり人件費	$\frac{\text{人件費}}{\text{社員数}}$	社員1人当たりの人件費水準をみる
労働分配率	$\frac{\text{人件費}}{\text{限界利益}}$	社員の生産効率に対する人件費のバランスをみる

03

経営指標分析

(4) 安全性分析

安全性分析

バランスのとれた安定した経営が行われているかどうか、企業を取り巻く経営環境が変化しても耐える力がどの位あるかをみます。
企業の財政状態の良否、支払能力の程度を見ているものです。

平成25年7月

業種選択

建設業

(単位：%)

業界平均値との比較

経営指標	前期実績	当期累計	業界平均	判定
流動比率	540.9%	753.3%	159.43%	5
当座比率	540.6%	752.9%	102.95%	5
固定比率	25.8%	23.9%	101.82%	5
固定長期適合率	25.8%	23.9%	59.83%	5
自己資本比率	78.8%	83.1%	35.3%	5

[判定基準]

指標/点数	5	4	3	2	1
流動比率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下
当座比率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下
固定比率	標準値の80%以下	標準値の81~94%	標準値の95~104%	標準値の105~119%	標準値の120%以上
固定長期適合率	標準値の80%以下	標準値の81~94%	標準値の95~104%	標準値の105~119%	標準値の120%以上
自己資本比率	標準値の120%以上	標準値の105~119%	標準値の95~104%	標準値の81~94%	標準値の80以下

生産性をみるために確認する指標

分析指標	算式	利用目的
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	短期負債の支払をカバーできる運転資金状態をみる
当座比率	$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}}$	短期的な負債に対する直接支払能力をみる
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}}$	自己資本に対する固定資産の割合状況をみる
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}+\text{固定負債}}$	固定資産に対する調達源泉が適正かみる
自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	投下資本に対する自己資本の割合をみる